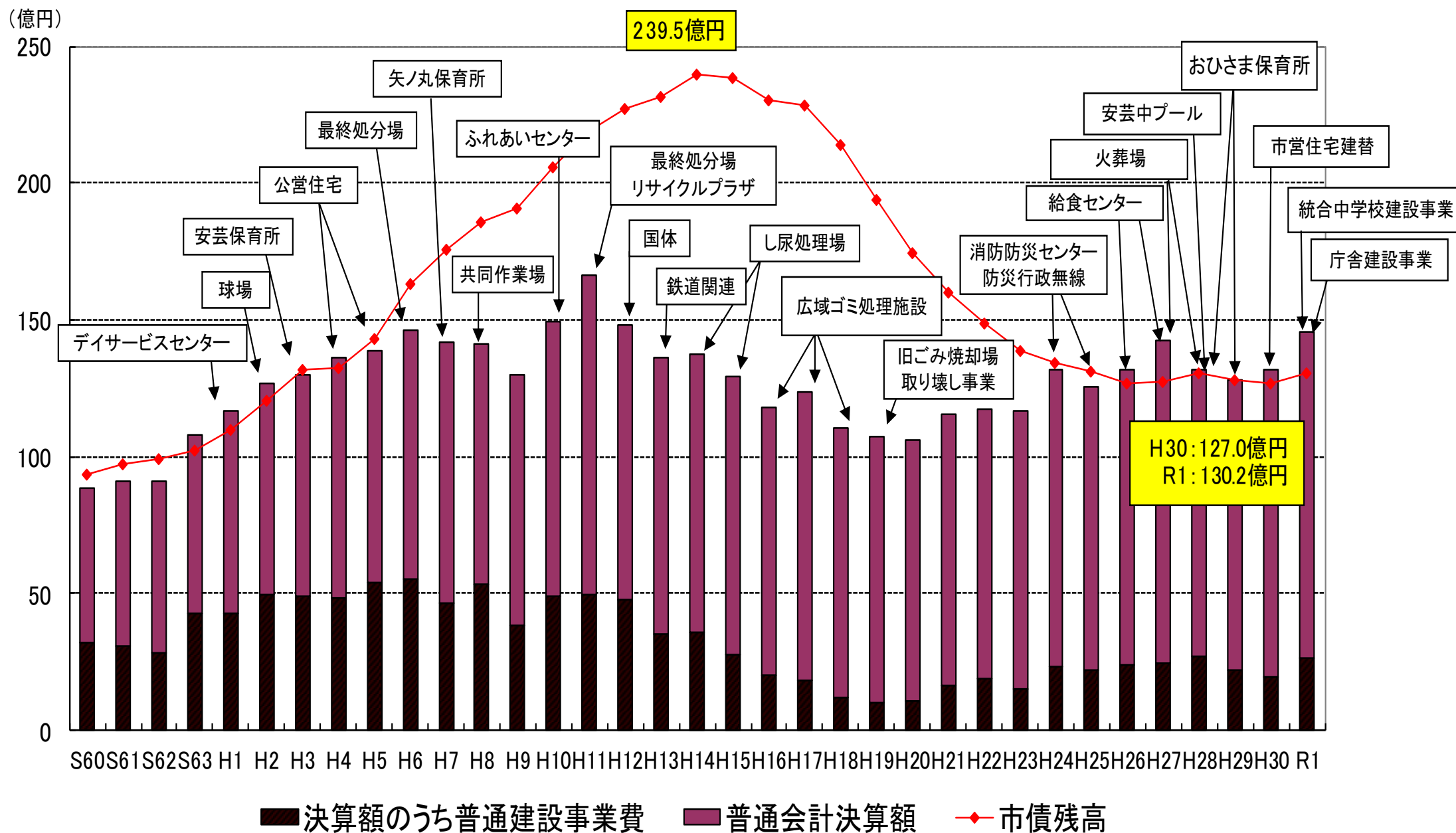


市の財政状況

普通会計決算額と市債残高の推移



平成20年度決算の実質公債費比率ランキング

平成20年度決算における実質公債費比率が早期健全化基準以上である団体

(単位: %)

都道府県名	市区町村名	実質公債費比率
北海道	夕張市	42.1
長野県	王滝村	32.1
鳥取県	日野町	30.2
北海道	洞爺湖町	29.8
福島県	双葉町	29.4
沖縄県	伊平屋村	29.0
北海道	江差町	28.6
北海道	中頓別町	28.3
北海道	浜頓別町	28.2
高知県	安芸市	27.6
沖縄県	座間味村	27.4
沖縄県	伊是名村	27.4
北海道	歌志内市	26.8
群馬県	嬬恋村	26.7
兵庫県	香美町	26.6
北海道	由仁町	26.4
奈良県	上牧町	26.4
北海道	利尻町	26.2
山形県	新庄市	25.9
奈良県	御所市	25.8

全国
ワースト
10位

全国783都市ランキング

(平成20年度決算全国都市財政年報より)

■義務的経費比率 62.11% 【783都市中774位】

■公債費比率 27.3% 【783都市中782位】

■公債費負担比率 39.3% 【783都市中782位】

■実質公債費比率 27.6% 【783都市中782位】

実質公債費比率

1年間の収入に対して、一般会計や下水道会計などで支払う借金返済がどれくらいあるかを示す指標。

健全化判断基準

財政再生基準 (レッドカード) : 35.0%以上

早期健全化基準 (イエローカード) : 25.0%以上

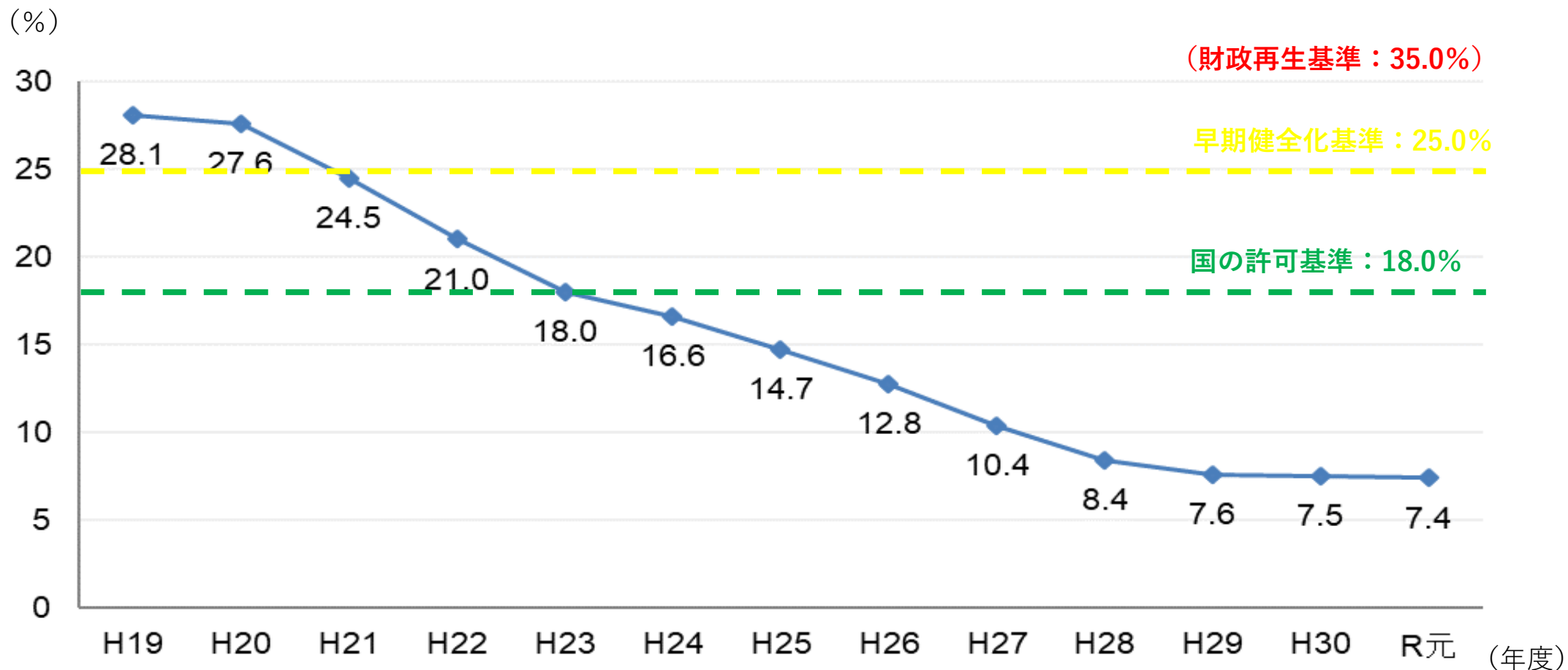
借金をするために国の許可が必要 : 18.0%以上

(注) 1. 実質公債費比率の高い順に記載している。

2. 実質公債費比率の早期健全化基準は、25%である。

3. 夕張市の実質公債費比率は、財政再生基準(35%)以上である。

実質公債費比率の推移



平成15年度に策定、16年度に見直しをかけた『安芸市緊急財政健全化計画（アクションプラン）』に基づいた行財政改革を他市町村に先駆けて開始し、行政経費の徹底的な見直しや組織のスリム化などにより財源不足の解消に取り組んだ結果、平成21年度決算の実質公債費比率は早期健全化基準を下回り、以降も同比率が改善されている。

しかしながら、今後も市庁舎建設や統合中学校整備などの大型事業で多額の市債発行（借金）が見込まれており、同比率の悪化が危惧されている。また、国による地方財政対策の動向も先行きが不透明で厳しい状況も予想されることから、将来にわたって持続可能な行財政運営を進めていくため、行財政改革を継続して実施する必要がある。

令和元年度普通会計決算 各種財政指標市町村別一覧

実質公債費比率
(3か年平均)

1	津野町	▲ 8.2
2	北川村	▲ 4.9
3	奈半利町	1.2
4	仁淀川町	1.3
5	大豊町	2.0
6	田野町	2.3
7	佐川町	3.9
8	梶原町	4.2
9	香南市	5.3
10	安田町	5.7
11	南国市	7.2
12	四万十町	7.2
13	安芸市	7.4
14	芸西村	7.5
15	土佐町	7.5
16	黒潮町	7.6
17	越知町	7.7
18	本山町	7.9
19	馬路村	8.3
20	三原村	8.5
21	いの町	8.7
22	日高村	8.7
23	大月町	9.1
24	香美市	9.7
25	大川村	9.8
26	中土佐町	10.0
27	室戸市	10.4
28	四万十市	11.0
29	東洋町	12.6
30	土佐市	12.7
31	宿毛市	13.0
32	高知市	14.2
33	須崎市	16.0
34	土佐清水市	18.8

全5.8

県10.4

将来負担比率

1	梶原町	▲ 391.0
2	北川村	▲ 327.2
3	津野町	▲ 273.0
4	奈半利町	▲ 252.2
5	田野町	▲ 150.4
6	芸西村	▲ 138.4
7	中土佐町	▲ 127.9
8	馬路村	▲ 119.3
9	大豊町	▲ 113.5
10	三原村	▲ 85.1
11	仁淀川町	▲ 82.4
12	佐川町	▲ 71.6
13	香南市	▲ 69.6
14	四万十町	▲ 57.2
15	香美市	▲ 53.0
16	安田町	▲ 49.0
17	大川村	▲ 45.2
18	土佐町	▲ 39.9
19	いの町	▲ 38.2
20	日高村	▲ 19.7
21	黒潮町	▲ 17.6
22	安芸市	▲ 0.8
23	室戸市	13.3
24	本山町	16.7
25	越知町	44.2
26	大月町	55.0
27	南国市	58.1
28	宿毛市	62.3
29	東洋町	74.0
30	土佐市	94.5
31	須崎市	97.2
32	四万十市	113.4
33	土佐清水市	115.1
34	高知市	180.2

全27.4 県54.6

積立金現在高比率

1	梶原町	336.3
2	奈半利町	257.2
3	津野町	252.3
4	北川村	248.4
5	芸西村	202.9
6	三原村	196.2
7	中土佐町	187.4
8	田野町	179.8
9	馬路村	173.9
10	安田町	145.8
11	大豊町	140.7
12	仁淀川町	134.4
13	本山町	132.3
14	いの町	130.1
15	四万十町	128.5
16	大川村	120.9
17	香美市	119.2
18	安芸市	116.9
19	香南市	115.5
20	佐川町	110.7
21	土佐町	108.1
22	黒潮町	100.8
23	日高村	85.4
24	室戸市	73.8
25	大月町	69.1
26	越知町	67.5
27	土佐市	63.2
28	宿毛市	52.2
29	四万十市	45.9
30	須崎市	43.6
31	南国市	42.5
32	東洋町	36.8
33	土佐清水市	33.1
34	高知市	12.9

県73.1

地方債現在高比率

1	佐川町	118.5
2	芸西村	123.2
3	香南市	154.3
4	香美市	155.6
5	大豊町	162.9
6	宿毛市	164.0
7	田野町	165.5
8	南国市	175.5
9	土佐町	179.0
10	津野町	179.7
11	仁淀川町	182.3
12	日高村	190.9
13	北川村	204.5
14	安芸市	205.6
15	奈半利町	206.8
16	四万十市	212.1
17	四万十町	216.0
18	大月町	224.8
19	梶原町	229.6
20	越知町	232.9
21	いの町	233.6
22	東洋町	241.6
23	安田町	244.3
24	須崎市	247.8
25	馬路村	248.8
26	土佐市	252.5
27	室戸市	253.4
28	黒潮町	260.7
29	高知市	268.1
30	本山町	280.2
31	土佐清水市	300.4
32	三原村	308.3
33	中土佐町	320.9
34	大川村	410.8

県229.9

●標準財政規模

標準的な状態での一般財源（使途に制限のない財源）の規模。普通交付税と市税収入が主なもの。

●将来負担比率

地方債の残高をはじめ普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合。

●積立金現在高比率

普通会計が保有する積立金（貯金）の標準財政規模に対する割合。

●地方債現在高比率

普通会計が保有する地方債（借金）の標準財政規模に対する割合。